報道関係各位　　2012 年 8 月 31 日

主要な国際標準化団体がイノベーションとボーダレスコマースを推進する「OpenStand」原則を承認

5つの有力団体、IEEE、IAB、IETF、Internet Society が、他の標準化団体や企業、各国政府に対し
グローバルなオープンスタンダードによる新たな枠組みへの支援を呼びかけ

2012 年 8 月 31 日－

5 つの国際団体、IEEE（アイ・トリプル・イー）、IAB（インターネットアーキテクチャ委員会）、IETF（インターネット技術タスクフォース）、Internet Society（インターネット協会）、W3C（ワールドワイドウェブ・コンソーシアム）は本日、グローバルなオープンスタンダードの新たな枠組みの確立のために共同で策定した「標準化原則」の重要性を謳う声明に署名したことを発表しました。この「OpenStand」原則は、インターネットや Web が、技術革新や国境を越えた商取引のため、作り上げてきた効果的かつ効率的な標準化プロセスに基づくものです。この原則は、市場での競争や協力関係を醸成して技術革新や相互運用性をサポートし、市場の成功につながることはすでに証明されています。

IEEE、IAB、IETF、Internet Society、W3Cの5つの団体では、OpenStand原則への支持を、世界の他の標準化団体や各国政府、企業、技術革新リーダーなど、幅広く呼びかけています。OpenStand原則は、現在open-stand.orgから入手できます。

OpenStand原則は、それぞれの国を代表する従来型組織の形式的な立場にとらわれず、世界の市場経済でのグローバルスタンダード導入を推進するための新しい枠組みにより成り立っているものです。

- 標準化団体間の協力
- 標準化開発にあたっての適正な手続、幅広いコンセンサス、透明性、調和と開示性の順守
- 技術的メリット、相互運用性、競争、イノベーション、人類への恩恵への深い関与
- あらゆる人々が利用可能であること
- 自主的な採択

IEEE Standards Association（IEEE-SA）のプレジデント、スティーブ・ミルズ（Steve Mills）は次のように述べています。「市場のグローバル化が進み、急速な技術の進歩や製品開発期間の短縮などの要求が高

まりにより、グローバル市場の拡大に寄与するためにこれまで以上に効率的な方法で国際標準を定義する必要に迫られています。OpenStand原則は、今、世界で求められている国際標準をより効率的に発展させていきます。」

さらに、ISOCのインターネット技術最高責任者、レスリー・ダイグル（Leslie Daigle）氏は次のように述べています。「経済のボーダーレス化のため国際標準はその場しのぎで策定されたものではなく、技術的なメリットがあり、迅速な対応が可能なことがすでに証明されている枠組みです。OpenStand原則は、あらゆる技術分野で標準化が行われることによって、グローバルな創造性やノウハウを活用する際の現場レベルでの協力を伝え、経済のなお一層の進展を支えるものです。」

インターネットの物理的接続性を確保するためのIEEE標準、グローバルインターネットのエンドツーエンド相互運用性のためのIETF標準、ワールドワイドウェブのためのW3C標準など、いずれもこのOpenStand原則を通じて策定され採択されました。

IETFチェアのラス・ハウスレイ（Russ Housley）氏は、「インターネットやWebによって経済や社会の変革が促され、今や何十億もの人々に関わっています。インターネットの世界的な成功のカギは、多様な技術の効率的な標準化にあります。こうした国際標準は、卓越した技術に焦点をあて、全世界から多数の参加者を得て、その協力のもとで作成されてきました。その結果、それまでのあらゆる標準化モデルをはるかに凌駕する成果をもたらし、文字通り世界を変革へと導いたのです」と述べています。

デザインオートメーション標準が世界的に採用されることによって、業界は複雑な電子ソリューションの定義に向け大きく前進することができました。OpenStand原則の精神に基づいて策定されたグローバル標準の好例と言えます。また今後10年間のうちにこうした標準化が求められると予想されるもう一つの技術分野は、世界的なスマートグリッド化です。発電から分配、送電、消費までを含む通信および制御を実現できるエンドツーエンドな双方向ネットワークが求められており、これらを確保する地域施設や設備を拡大するために標準化が模索されています。

W3Cのジェフ・ジャフィー（Jeff Jaffe）CEOは次のように述べています。「この30年間にインターネットやWebが可能にしてきたあらゆることを考えると、社会や政府、ビジネスのあり方が完全に変わってしまったといえます。少数の団体がわずかな数の原則に従ったことで、人類や技術革新、世界市場での競争がこれほどまでに大きな影響を受けてきたことは実に驚くべきことです。」

IABのチェア、バーナード・アボバ（Bernard Aboba）は、「インターネットは世界中で自主的に採用された仕様に基づいて構築されています。形式的なステータスではなく、ランニングコードや相互運用性、実装段階に重きを置くことによって、インターネット標準の策定は民主化され、元来標準化組織以外で策定された仕様を実行可能にすることで、それぞれの技術的なメリットや採用上のメリットの認知度が上がり、人類に恩恵を与える世界的なコミュニティの生成に貢献しています。今、我々は、他の標準化団体のほか、各国政府や企業、あるいは個人にもこのopen-stand.orgのOpenStand原則への支持を呼びかけ、インターネットの隆盛をはぐくんできた原則の意義を再確認しようとしています。こうした原則は今後もさらなる成長と発展を支えていくことになるでしょう」と述べています。

IEEEについて
IEEEは、世界最大の技術専門家の団体であり、人類に恩恵をもたらす技術の進展に貢献しています。引用されることが多い文献、会議、技術標準、専門家向けおよび教育活動を通じ、IEEEは、航空宇宙システム、コンピュータ、通信、生物医学エンジニアリング、発電、コンシューマエレクトロニクスといった広範な分野からの信頼を集めています。詳しくはhttp://www.ieee.orgをご覧ください。

IAB（インターネットアーキテクチャ委員会）について
IABはIETF（インターネット技術タスクフォース）の委員会であると同時にISOC（インターネット協会）の技術諮問機関としても機能し、IETFの諸活動の監督を行うとともに、インターネット関連の標準化プロセスや各種関連議論のとりまとめやRFC文書の編集を行っています。また、IABはIETFプロトコルパラメータの割り当てについての最終責任機関でもあります。

IETF（インターネット技術タスクフォース）について
IETFはインターネット技術の発展とインターネットの円滑な運用を推進する国際的な任意団体であり、ネットワーク設計、運用、ベンダー、研究者などインターネットに関与する個人が誰でも参加できる巨大なオープンコミュニティを形成し、ISOC（インターネット協会）の活動部隊としての役割も果たしています。

ISOC（インターネット協会）について
インターネット協会（ISOC）は非営利の独立した国際組織としてインターネットに関する情報を広く提供し、世界のインターネットの普及促進を図るための先導的な役割を果たす組織として国際的に高く評価されています。ISOCは確固たる使命感と技術的基盤を擁し、インターネット関する政策や技術、将来的な展開について、一般ユーザーや企業、政府その他の組織の間でのオープンな対話を推進しています。全世界に広がる会員や各国支部組織が協力することによって、ISOCは「あらゆる人々のためのインターネット」の進化と成長を持続させています。ISOCの詳細についてはwww.internetsociety.orgをご覧ください。

W3C（ワールドワイドウェブ・コンソーシアム）について
ワールドワイドウェブ・コンソーシアム（W3C）はWWW関連技術の標準化のためにメンバー組織および専属スタッフ、公的機関によって組織された国際的なコンソーシアムです。Web標準とガイドラインの策定によってWebの長期的な成長をはかることを主な使命として設立され、現在375を超える組織・団体が会員として名を連ねています。W3Cは現在、米マサチューセッツ工科大学（MIT）コンピュータ科学研究所（MIT/LCS）、欧州情報処理数学研究コンソーシアム（ERCIM）、日本の慶應義塾大学SFC研究所(Keio-SFC)によって共同運営され、フランスと日本に本部が置かれているほか世界各地に支部組織が置かれています。詳しくはhttp://www.w3.org/をご覧ください。

IEEE-SAは、スマートグリッドに関連する現行規格および開発中の規格を100以上掲げており、スマートグリッド規格の開発、ならびにスマートグリッドの構想、認識、教育において世界的なリーダーです。

IEEE-SA について詳しくは Facebook (http://www.facebook.com/ieeesa) でご覧になれます。また、Twitter でフォローするには http://www.twitter.com/ieeesa を、また Standards Insight Blog をお読みになるには http://www.standardsinsight.com をそれぞれご覧ください。

###

IEEE-SA とは

IEEE Standards Association (IEEE-SA)は、電力・エネルギーや情報技術、通信から、交通、医学・医療、さらにはナノ技術といった新しい分野やサイバーセキュリティなど、広範な業界における業界標準規格を主導的に策定しています。世界的に認識されている IEEE-SA は、国際電気標準会議(IEC)、国際標準化機構(ISO)、および国際電気通信連合(ITU)と戦略的関係を持ち、より多くの 国際標準化への道を提供しながら、世界貿易機関(WTO)が定めるすべての標準開発機関(SDO)の条件に対応しています。IEEE-SA は、900 以上の現行標準と 500 以上の開発中の標準を有しています。

詳しくは http://standards.ieee.org/をご覧ください。

IEEE について

IEEE は、世界最大の技術専門家の組織であり、人類に恩恵をもたらす技術の進展に貢献しています。160 カ国、40 万人以上のエンジニアや技術専門家の会員を擁する非営利団体で、論文誌の発行、国際会議の開催、技術標準化などを行うとともに、活動を通じて世界中の工学やその他の技術専門職のための信用性の高い「声」として役立っています。

IEEE は、電気・電子工学およびコンピューターサイエンス分野における世界の文献の 30%を出版 1300 近い現行標準を策定し、年間 1,000 を超える国際会議を開催しています。

詳しくは http://www.ieee.org をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

共同ピーアール株式会社 担当:菊地、大平
TEL:03-3571-5238 FAX:03-3571-5380
e-mail:t-kikuchi@kyodo-pr.co.jp